

産業医が行った健康診断の事後措置事例集作成のためのケーススタディ

調査態勢

主任研究者	京都産業保健総合支援センター所長	横田 耕三
共同研究者	産業保健相談員	大山 孜郎
共同研究者	産業保健相談員	小林 一之
共同研究者	産業保健相談員	石井 正次
共同研究者	産業保健相談員	西尾 元哉
共同研究者	産業保健相談員	久下 寿夫
共同研究者	産業保健相談員	志岐 初子
共同研究者	産業保健相談員	藤田 裕
共同研究者	産業保健相談員	平林 裕
共同研究者	産業保健相談員	太田 美實
共同研究者	地域産業保健センター委員	14名

1.はじめに

産業現場における産業医活動と小規模事業場の産業保健を支援する地域産業保健センター活動の主要な内容である健康診断の事後措置の事例を収集して、事例集にまとめ、産業医はじめ地域センターで活躍する医師の参考として、経験交流を図り、或いは研修等の教材にすることを目的に、京都産業保健総合支援センターの相談員と地域産業保健センターの運営委員、産業保健に携わる保健婦・看護婦で調査研究会をもって、産業保健現場の参考となる事例を収集した。

2.調査研究の実施経過

京都府下における専門的産業医の活動は、改正された労働安全衛生法の趣旨に添って、選任義務のある労働者50人以上規模の事業場で、また50人未満の小規模事業場の支援策としての、各地域産業保健センターにおける個別訪問産業保健指導において、各産業医は各種の指導場面に遭遇している。

今般の当センターに於ける調査研究は、産業医の選任義務のある事業場における事例については、当センターの産業保健相談員が担当し、産業医研究会や看護職研究会等の協力も得て各方面の事例を収集し、府下7地域産業保健センターは、3つの分科会で地域センター運営協議会委員コーディネーターによる研究会をもって、各種の指導事例を収集した。

- (1) 産業医に係るモデル的事後措置…【2編】
- (2) 健康診断の事後措置の重要性…【7編】
- (3) メンタルヘルスに関する事後措置…【5編】
- (4) 地域産業保健センターの産業保健指導…【8編】
- (5) 地域産業保健センター健康診断後の事後指導についての提言…【1編】
- (6) 産業医の活動…【1編】

3.収集した事例について

産業医の選任義務のある事業場2社の健康診断実施後の事後措置を会社組織の中に、健康管理マネジメントシステムとして確立し、従業員の健康福祉のために事業者の安全衛生配慮義務を果たしている事例は、久下 寿夫産業医の実践事例として、他の事業場の健康管理 特に、健康診断の結果に基づく事後措置に係る産業医をはじめ事業者・衛生管理者等産業保健関係者のモデル的事例として第1編に編集した。

今1つ 地域産業保健センターが行う登録事業場の個別訪問産業保健指導として実施している小規模事業場に於ける健康診断結果に基づく事後措置については、本調査研究の中で検討し、地域産業保健センターの登録医師 香月 昭人産業医の「労働者の健康診断のデータを有効活用するために」の実践体験による指導内容と今後への提案を含む事例を地域産業保健センター個別訪問産業保健指導の向上発展のために巻末に編集した。

収集された24編の事例の中には、調査研究課題から外れた内容もあったが、いずれも産業医の活動に関する事例であったので参考になると判断して総て編集することになった。

その事例の標題を列記すると次の通りであった。

- (1)健康診断実施後の措置[2社]
- (2)従業員に対する健康診断実施・フォローマニュアル
- (3)狼が本当に出た話
- (4)定期健康診断結果より早期胃癌発見
- (5)重症高血圧にて一時的に就業制限した事例
- (6)突然の配置転換と家族状況の変化(娘の病气)を背負いきれず落ち込んだ組立班長
- (7)産業医が安全衛生委員会を指導して安全面に貢献している事例
- (8)健康を守るための生活習慣「一次・二次予防失敗の事例」
- (9)地域産業保健センター事業の個別訪問産業保健指導事業場の定期健康診断の結果に基づく事後措置の事例
- (10)健康診断の結果に基づく事後措置整理表
- (11)要精検の拒否者が上司の説得で初めて受検して早期発見出来た例
- (12)特定業務従事者健診で早期発見され、幸運な経過を辿った心因反応者の例
- (13)主治医と職場との連携が困難であった例
- (14)地域産業保健センターの個別訪問産業保健指導事業場の「一般健康診断結果」および「じん肺健康診断」の事後措置指導事例
- (15)メンタルヘルスに関する健康診断の事例
- (16)職場の人間関係で職場適応に支障を来した事例
- (17)一般定期健康診断と特定化学物質の特殊健康診断の結果に基づく事後措置の事例
- (18)地域産業保健センターにおける個別訪問指導後措置「建設労働者の結核感染者の事後措置の事例」
- (19)有機溶剤と鉛取扱作業のある個別訪問産業保健指導
- (20)登録事業場の特殊健康診断の事後措置事例
- (21)無断欠勤をした2例(若年者)
- (22)虚血性心疾患で通院治療中の労働者過重労働で心筋梗塞で死亡
- (23)潜在的虚血性心疾患を増悪し、急性心不全で死亡した事例
- (24)聴力検査の有所見に関する事後措置事例
- (25)建設業下請シールド工事業者の雇入時健康診断の事後措置事例
- (26)労働者の健康診断のデータを有効活用する為に
- (27)生活習慣指導マニュアル
- (28)健康診断結果に基づく事業者が講ずべき措置に関する指針

4.結果と考察

広範囲に収集され紹介できてよかったと評価している。

このことは、即ち、産業医活動の幅広さであり、専門性の奥の深さを示しているもので、ケーススタディの必要性和重要性を産業医に訴え、事業場には産業保健関係者の組織的マネジメントの確立、即ち管理体制の整備確立が必要であることも改めて提起している。

この事例集は、まだ第1輯であるが、これをテキストとして産業医の研究教材として、また事業場の健康管理関係者の参考教材として活用され、産業保健のレベルアップに役立つことを期待したい。